

## 完了後の評価個表

整理番号	14
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	愛知県
地域（地区）名	おわりにしみがわ 尾張西三河	事業実施主体	県、市、森林組合等
関係市町村	せと 瀬戸市ほか2市	管理主体	県、市、森林組合等
事業実施期間	H23年度～H27年度（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>本地区は、愛知県の西部から中部に位置し、総面積は 345 千 ha である。</p> <p>本地区の森林面積は 109 千 ha（森林率 32%）、対象民有林は 105 千 ha（森林全体の 97%）、うちスギ、ヒノキを主体とする人工林は 55 千 ha（人工林率 52%）となっている。</p> <p>スギ、ヒノキ人工林の齢級構成は、標準伐期齢（スギ 40 年、ヒノキ 45 年）以下が 19%、標準伐期齢以上が 81%であり、森林資源は十分に成熟しているが、木材価格の低迷や森林所有者の経営意欲の低下等から、適正な整備がなされていない森林が多くある。</p> <p>そのため、水源涵養機能等の森林の多面的機能の発揮が求められており、尾張西三河地域森林計画の方針に基づき、計画的な間伐等の森林整備、その基盤となる林道や森林作業道などの路網整備を推進することが望まれる。</p> <p>本地区のうち、豊田市北東部や岡崎市東部は、古くから林業が盛んであった優良な人工林地帯であり、木材生産機能の高い森林を有する。また、本地区の都市部近郊の森林は、自然環境の保全、生活環境の形成といった機能も兼ね備えている。</p> <p>このため、本地区内の充実した森林資源の利用及び水源涵養機能等の森林の有する公益的機能の発揮のため、間伐等の森林整備を推進するとともに、これらを効率的に推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容 森林整備 1,399ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等 路網整備 2,955m 林道開設</p> <p>・総事業費 1,024,999 千円（税抜き 966,199 千円） （平成 22 年度時点 999,445 千円（税抜き 951,852 千円）</p> <p>※なお、事業採択時は事前評価の対象外である。</p>
----------	--

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和3年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>事業着手以降、労務単価の上昇や開設林道の増加等に加え、人工林の高齢級化に伴い、間伐した木材を林内に切り置く保育間伐から、木材を搬出、利用する利用間伐の割合が増えていることにより、面積あたりの施業コストが増大していることを踏まえ費用便益分析を実施した。</p> <p>総便益（B）9,366,210千円          総費用（C）2,125,551千円          分析結果（B/C）4.41</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新、保育により1,399haの森林整備が実施され、水源涵養、山地保全等の森林の有する公益的機能や木材生産機能の維持増進が図られた。</li> <li>・林道開設により2路線2,955mの路網が整備され、車両が通行可能になったことにより、森林整備事業地までの通勤時間の短縮や資材運搬等が容易になった。また、大型車両による木材運搬が可能となり、木材生産のための基盤整備が図られた。</li> <li>・森林整備、路網整備事業の実施により、地域の雇用の確保に貢献した。</li> </ul>
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営計画等に基づき適切に管理されている。</li> <li>・開設した林道は森林整備・木材生産時に活用できるよう、路面や法面状況の確認と必要があれば補修を実施し適切に管理している。</li> </ul>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により、水源涵養、山地保全等の公益的機能が発揮されるとともに、地域の木材の安定供給に寄与した。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本地区の人口は、平成22年度の6,645千人から令和2年度の6,798千人と微増しているが、産業別就業者数の大半は第2次、第3次産業であり、林業就業者数は減少傾向にある。</p> <p>人工林資源の蓄積や木材需要の高まりから、平成30年に県内で最大規模の製材工場が本格稼働した他、エネルギー供給源の多様化に対する社会的要請から、木質バイオマス発電施設の稼働も始まり、安定的な木材供給が求められている。</p> <p>こうした状況の中、木材生産においては、森林組合等林業事業体において高性能林業機械が導入され、一定の低コスト化林業が実現した。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>XⅢ齢級を超える高齢級林分が増加していることから、適正な更新及び主伐後の確実な再造林を実施し、持続的に森林の循環利用が可能な林分構成に改善していく必要がある。主伐の推進のための集材技術の向上や伐採、植栽、獣害対策を一貫して行う取組による低コストな林業技術の開発と普及が求められる。</p> <p>航空レーザ計測等のリモートセンシング技術により取得した森林資源情報や地形情報を活用し、木材生産に資する効率的な路網整備を進める。</p> <p>地域の路網を維持するため、近年頻発する豪雨に対応できる頑丈な林道としていく必要がある。</p>

	<p>地元の意見</p> <p>(豊田市)</p> <p>本事業を活用した森林整備事業や林道整備事業等の実施により、公益的機能が発揮される森づくりが推進された。</p> <p>引き続き、林業事業者及び地域組織である地域森づくり会議と協力しながら、公益的機能が高度に発揮される森づくりを推進していく。</p> <p>(豊田森林組合)</p> <p>集約化施策が根付きつつある段階であり、特にインフラ整備においてスケールメリット発揮の実感が増している。</p> <p>高性能林業機械が常に6セット以上稼働していけるよう、これからも事業地確保と安全作業、コスト意識の向上に取り組みたい。</p>
<p>評価結果</p>	<p>必要性： 搬出間伐等の森林整備や路網整備による木材の安定供給や水源涵養機能等の森林の有する公益的機能の発揮において重要な役割を果たしており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 計画的な路網整備と列状間伐等の効率的な森林整備により、木材生産コストの縮減が図られており、費用便益分析の結果からも十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林の公益的機能の発揮及び森林資源の有効活用が図られており、今後もその効果が継続されていくことから、有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

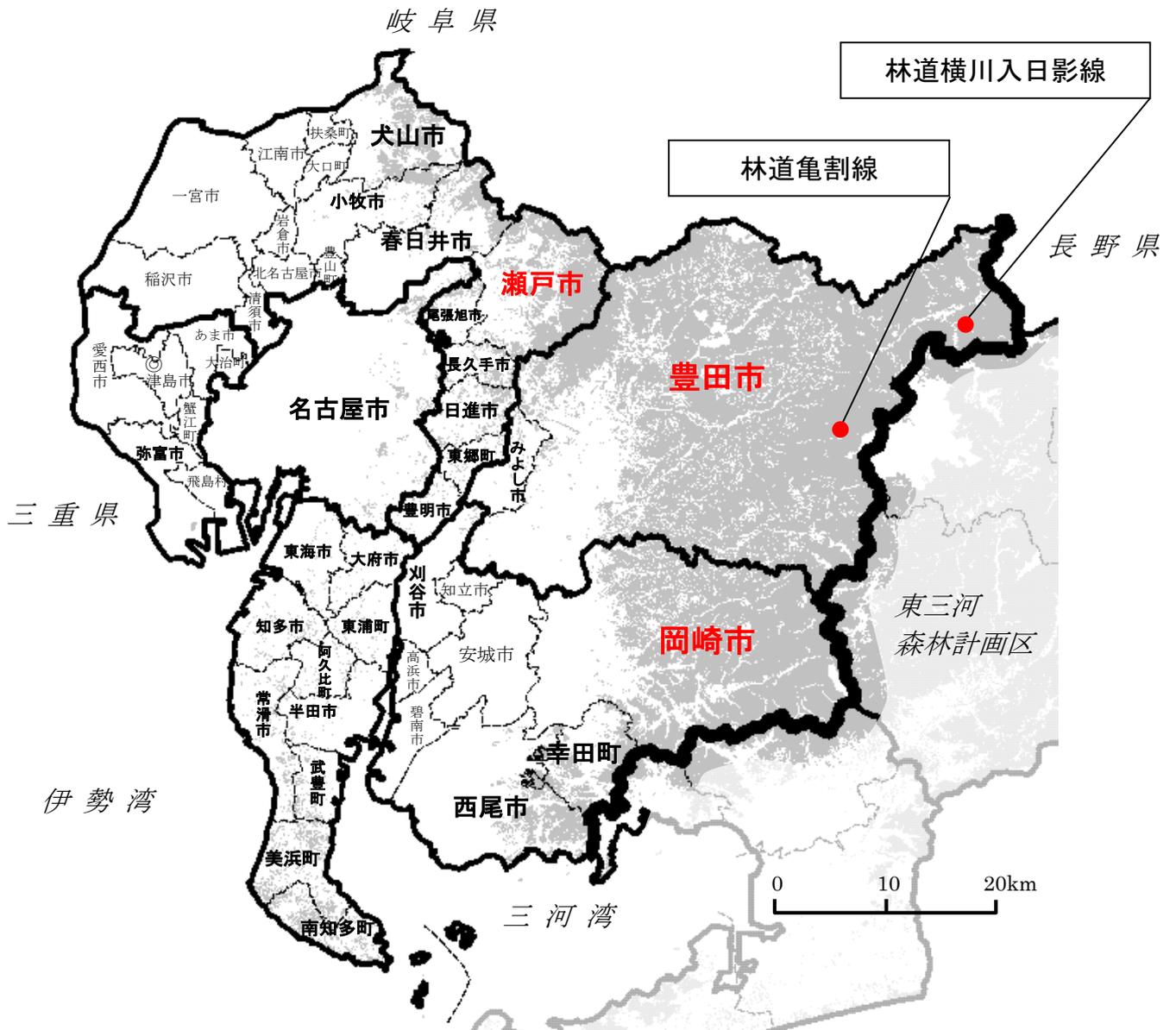
都道府県名：愛知県

地域(地区)名：尾張西三河 おわりにしみかわ

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,106,858	
	流域貯水便益	628,346	
	水質浄化便益	2,345,672	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,606,645	
環境保全便益	炭素固定便益	1,645,256	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	702,596	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	15,625	
	森林整備促進便益	315,212	
総 便 益 (B)		9,366,210	
総 費 用 (C)		2,125,551	
費用便益比	$B \div C = \frac{9,366,210}{2,125,551} = 4.41$		

# 森林環境保全整備事業 尾張西三河（愛知県）の概要図



凡 例	
	計画区界
	市町村界
	地区界



注1：ゴシック表記の市町村は、地域森林計画対象森林を有する市町村

注2：赤字表記の市（瀬戸市、岡崎市、豊田市）において森林環境保全整備事業を実施。